第一百九十八條　　公共危險物品製造、儲存或處理場所及爆竹煙火場所，應依下表選擇適當之滅火設備。

防護對象 ＼ 滅火設備		第一種	第二種	第三種								第四種									第五種											
		室內或室外消防栓	自動撒水設備	水霧滅火設備	泡沫滅火設備	二氧化碳滅火設備	惰性氣體滅火設備	鹵化烴滅火設備	乾粉滅火設備			大型滅火器									滅火器									水桶或水槽	乾燥砂	膨脹蛭石或膨脹珍珠岩
									磷酸鹽類等	碳酸鹽類等	其他	柱狀水滅火器	霧狀水滅火器	柱狀強化液滅火器	霧狀強化液滅火器	泡沫滅火器	二氧化碳滅火器	乾粉滅火器			柱狀水滅火器	霧狀水滅火器	柱狀強化液滅火器	霧狀強化液滅火器	泡沫滅火器	二氧化碳滅火器	乾粉滅火器						
																		磷酸鹽類等	碳酸鹽類等	其他							磷酸鹽類等	碳酸鹽類等	其他			
區分	建築物及附屬設施	○	○	○	○				○			○	○	○	○	○		○			○	○	○	○	○		○			○		
	電氣設備			○		○	○	○	○	○			○		○		○	○	○			○		○		○	○	○				
	第一類公共危險物品：鹼金屬過氧化物									○	○								○	○								○	○		○	○
	第一類公共危險物品：其他第一類公共危險物品	○	○	○	○				○			○	○	○	○	○		○			○	○	○	○	○		○			○	○	○
	第二類公共危險物品：鐵粉、金屬粉、鎂									○	○								○	○								○	○		○	○
	第二類公共危險物品：易燃性固體	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	第二類公共危險物品：其他第二類公共危險物品	○	○	○	○				○			○	○	○	○	○		○			○	○	○	○	○		○			○	○	○
	第三類公共危險物品：禁水性物質									○	○								○	○								○	○		○	○
	第三類公共危險物品：其他第三類公共危險物品	○	○	○	○							○	○	○	○	○					○	○	○	○	○					○	○	○
	第四類公共危險物品		Δ	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○					○	○	○	○	○			○	○
	第五類公共危險物品	○	○	○	○							○	○	○	○	○					○	○	○	○	○					○	○	○
	第六類公共危險物品	○	○	○	○				○			○	○	○	○	○		○			○	○	○	○	○		○			○	○	○
	爆竹煙火	○	○	○	○							○	○	○	○	○					○	○	○	○	○					○	○	○

備註

一、本表中「○」標示代表可選設該項滅火設備；「Δ」標示代表電子工業（指積體電路製造業、半導體封裝及測試業、液晶面板及組件製造業、發光二極體製造業、太陽能電池製造業及其他經中央主管機關認定之業別）可選設該項滅火設備。

二、大型滅火器之藥劑數量應符合相關滅火器認可規範。

三、磷酸鹽類等為磷酸鹽類、硫酸鹽類及其他含有防焰性藥劑。

四、碳酸鹽類等為碳酸鹽類及碳酸鹽類與尿素反應生成物。

五、惰性氣體滅火設備限 IG-100、IG-55、IG-541滅火設備；鹵化烴滅火設備限 HFC-23、HFC-227ea 滅火設備。

六、製造、儲存或處理汽油、煤油、輕油或重油之公共危險物品場所，選設 IG-100、IG-55、IG-541、HFC-23或 HFC-227ea 滅火設備時，防護區域體積應未滿一千立方公尺。